長崎高教組
定通部だより
2021 年 8 月 10 日
第 1 号
発行責任者　烏山 隆弘

ホームページ　http://nagasaki-kokyoso.org
メールアドレス　info@nagasaki-kokyoso.org

全国定通教育学習交流集会

あきらめない、いそがない、ひとりにしない定通教育

・期　　日　2021年7月24日(土)～25日(日)
・会　　場　大阪府教育会館 たかつガーデン
（大阪府の参加者のみ）
・開 催 方 法　オンラインで全国と会場を結んで開催
・参　加　者　のべ130名以上
・本県参加者（2名）　濱本 功二（佐世保中央夜間）
烏山 隆弘（鳴滝夜間）

全国の定時制・通信制高校に通学する生徒たちが抱える課題や指導実践例等の情報を交換・共有しました。集会には、教職員の他、生徒、卒業生、保護者、SSW、NPO 関係者等が参加し交流を深めました。

1　シンポジウム 『いま通信制高校は』 そもそも通信制高校って？ 生徒や教職員の実際は

・パネリスト　：私立通信制高校教員 & 保護者 & 卒業生（大阪府）・ 公立通信制高校教員（京都府）
・コーディネーター　：定時制高校教員

広域や株式会社立等、ますます広がりを見せる通信制高校。関係者４名が学校の様子を報告し、現状や課題等について学習を深めました。

Ａ校：開校20年。在籍生徒の年齢15～18歳。入学生内訳は、学齢４割、高校中退６割。９年間在籍可能。主な行事は、ハイキング、映画鑑賞、芋掘り、みかん狩り、スケート、ようこそ先輩等。特に芋掘りは人気行事で、200名が希望（50名×4回実施）。やんちゃな生徒たちが幼稚園生と一緒に仲良く活動した。行事を教師全員で取り組む申し合わせ「全員の先生で子どもたち1人1人をきめ細かく見ていこう!!」同調圧力は定時制以上にない。自由な活動が保障されているが、社会に出る時に不安も…。定員700名（大阪600、和歌山100）。経営ラインは600名。転編入受け入れ時期は随時をやめ、4月のみにした。入学式28回（2020年度：入学生＆転編入生）教師から歌のプレゼント『フラワー』。

学校生活の節目に、思いを言葉で綴る活動を重視。「歓迎の言葉」（入学式）、「贈る言葉」（卒業文集：保護者から）2020年度卒業生178名に保護者170名が寄稿。

総合学習の教材

問	進路って…（　　）が（　　）になるための道さがし。
生徒の回答	・（**自分**）が（**BIG**）になるための道さがし　・（**自分**）が（**好き**）になるための道さがし ・（**夢**）が（**現実**）になるための道さがし　・（**世界**）が（**明るく**）なるための道さがし ・（**自分の人生**）が（**よりいいもの**）になるための道さがし

2019年度、サトルさんが「A校の先生」というタイトルで書いた文を紹介します。

> A校の先生は全員変な人ばっかりです。今までの先生のイメージは「教師と生徒」感を出す人ばっかりやったけど、まぁそれが普通。そんな中、A校の先生は、教師と生徒ではなく、友達同士。しかも初対面でぐいぐい来る系のちょっとめんどくさいやつ。…（中略） A校の先生達みたいにあほで、なれなれしくて、頑張り屋で、温かい人になりたいです。

B校：クラスはあるが、クラスとしての活動等はない。１人で居たい生徒へ「ぼっちの時間」を保障する。文化祭・体育祭等を実施し、在籍の1/3～1/4が参加。行事と生徒会活動がリンクしてきた。社会に出て行く力をどうつけさせるかが課題。だが、焦らせてもいけない。本人の変化を待つ時間が必要。生徒Bは、16年かけて卒業。中卒後すぐ入学し、10年間在学後除籍。翌年すぐ再入学し、13年目から活動をスタート。2巡目(10年経過除籍後、翌年度再入学)の生徒が5～6人いる。

２ 講 演 『当事者として考える　外国にルーツのある子どもたちのキャリア支援』

オチャンテ 村井 ロサ メルセデス さん
（桃山学院教育大学 人間教育学部 人間教育学科 准教授）

日系4世のペルー人で、移民1.5世代。日本滞在24年。来日当時、未成年のため日系3世の扶養として「定住者」→「永住者」。両親に会えるので来日は喜びだったが、まさか25年も日本にいるとは想像しなかった。

（１）来日の経緯

1909年	富山県出身の曾祖父がペルーに移住
1990年	出入国管理及び難民認定法（以下「入管法」）改正
1991年	ペルー人の両親が三重県にある自動車関連会社へ出稼ぎ 「2～3年働いて、お金貯めてペルーに帰ろう」 父はフォルクローレのバンドを組み異文化理解推進のため学校訪問活動 日本では生活費もかかり、滞在予定を延長し、家族を呼び寄せる
1996年	15歳（日本語は全くできない状態）で来日 (12月：兄(16歳)、弟(6歳)、祖父母とともに)

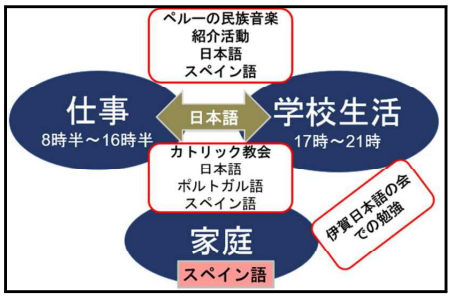
（２）中学～高校時代

中学校生活（三重県伊賀市内の中学校）

1997年1月　中学校入学(自身･兄(学齢超過)ともに中学3年へ)
国際教室でひらがな、カタカナ、小1の漢字を学習
3月　兄と同時に中学校卒業

高校生活（三重県立上野高校定時制）

1997年4月　日本語ほぼゼロ状態で兄と同時入学



高校在学中の言語環境イメージ

（３）高校での学習・支援

国語、理科、歴史の代わりに日本語を学習。始業30分前に登校し、日本語の先生と学習。夏休みも登校し学習した。高３からスペイン語学科の学生が支援に入り、母語による支援、通訳、翻訳体制が整えられた。継続的に日本語を学ぶ場が提供され、日本語能力試験3級、2級に合格。大学進学を目指す。友達の理解や受け入れがあって、支え合う仲間ができた。

（４）大学時代～現在

来日4年目で大学入学。学科長との個別面談、先輩の指導、シスターの支援。書くのが難しかったレポートを大学2年でやっと自力で書けるようになる。京都ノートルダム女子大学人間文化学部生涯発達心理学科卒業 → 三重大学大学院人文社会科学研究科地域文化論専攻修士課程修了 → 教育委員会小中学校教育課 外国人児童生徒巡回相談員（5年間）→ 奈良学園大学人間教育学部講師 → 桃山学院教育大学人間教育学部准教授

（5）多国籍な街 伊賀市（人の意識は変わった）

伊賀市の外国住民数は5,614人（R2年6月末）。総人口90,097人（人口比6.2%）顔の見えない存在から見える存在へと関心が高まっている。

・外国人住民がいるのは当たり前、普通、珍しがらなくなった。
・学校現場も多様化し、違いを豊かさとして捉える児童生徒も出てきた。
・外国人労働者はなくてはならない存在である。

一方、母親が授業参観に来ても「話しかけないで。真似されるから…」と言う子どももいる。「クニに帰れ!!」大人にとっては対応できることも言葉を受ける子どもにとっては大きなショック!! いろんな人との関わりの中で克服していく。 どこの言語・文化にも価値がある。

８カ国語標記のポスター

（6）外国人労働者を取り巻く環境（労働環境は30年以上経っても変わらない）

・非正規雇用のまま正社員にせず、期間労働の企業が多い。
・雇用期間は概ね3～6ヶ月。盆休み期間は無給 → 人生設計ができない!!
・人手不足を補うための使い捨て労働者（残業が多い時には夜まで、仕事が減ると解雇）
・将来、緊急時のための貯金ができず、余裕のない生活 → 生活困窮者

・学齢相当の外国人の子供の住民基本台帳上の人数 → 124,049人　不就学は約2万人！
・日本語指導が必要外国籍児童生徒数 → 40,755人
・日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒数 → 10,371人

（7）今後の必要な支援とは

義務教育期間を過ぎた学齢超過の若者が増え、その受け皿が夜間中学や定時制高校になっている。中学校夜間学級（夜間中学）は12都府県（東京、 茨城、埼玉、千葉、神奈川、京都、大阪、兵庫、奈良、広島、徳島、高知）に36校が設置。

来日したばかりの子どもたちに ① 初期適応教室の実施、② 継続的な日本語指導の充実を。

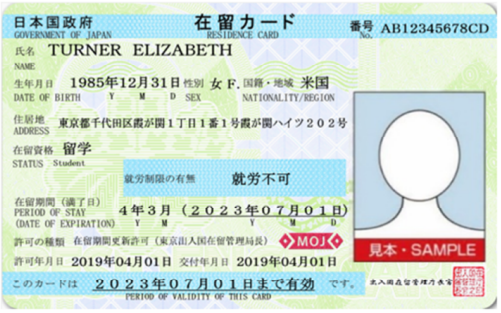
（8）定時制高校の先生やスタッフに望むこと

・日本語の学習サポートはもちろん、関わっている子ども・大人たちの文化的背景や外国人労働者が置かれている状況等を知り、関心を持つ。
・夜間中学校・高校や日本語教室は、日本人と交流する唯一の場所となる場合がある。
・日本語習得を支援 ＝ 自立支援
・優先順位をつけてもいいのでは。例：書けなくてもいいから読めるようになる。その子どもが生活できるための支援を。

（9）在留カードとは

在留カードとは、すべての中長期在留者に対して交付される身分証明書（ID カード）で、常時携行が義務づけられている。

在留カードには、氏名、生年月日、性別、国籍・地域、住居地、在留資格、在留期間、就労の可否（「就労不可」～「就労無制限」）等が記載されている。IC チップを搭載し、16歳以上には顔写真が表示されている。



外国人生徒をサポートするために、担任はどんな資格を持っているのか確認した方がよい。

(10) 最後に

移民の子どもたち、そして今後も増え続ける多様な子どもたちも将来日本の社会を担っていく一員である。

・今の支援 ＝ 将来の日本への投資という共通理解
・日本語を習得支援 ＝ 自立支援

多文化共生社会は日本の将来のためにある

３　特別報告　『定時制高校の経験と漫画家としての今』

浦部　はいむ さん　（漫画家）

浦部さん

第69回 ちばてつや賞奨励賞『100個の願い』(2016)
第80回 小学館新人コミック大賞青年部門入選『僕はトイレが怖いんです。』(2017)
第23回 龍神賞あさりよしとお賞『外で飲む缶コーヒーはカッコイイ。』(2018)
代表作『高校生を、もう一度』(2020)他、単行本４冊出版

（１）漫画を描くきっかけ

人間関係が原因で、対人恐怖症に。「教室に行くとみんなが悪口言っているような気がして…」15歳で全日制高校を中退。工場で約4年間働いたが、夜遊びの誘いが苦痛だった。夜に学校に行ってたら誘われることもなくなる。工場のおばちゃんも「ここは一生働くとこじゃない。高校ぐらい出といた方がいいよ」とアドバイスしてくれた。19歳で定時制高校入学。

「自分が人に何かをほめられたことがあっただろうか」あらためて考えると、小学生時代の担任から絵が上手いと自分をよくほめてくれていたことを思い出した。絵や漫画を描いていた頃は、自分自身も楽しかったなと気がついた。今回は、定時制高校の漫画を描いたらいいんじゃないか？とアドバイスをもらった。Twitter にアップロードした作品がバズったことが大きなきっかけとなり、単行本を発行。

（２）『高校生を、もう一度』 人生は…、何度だってやり直せる

部活の友人とのトラブルが原因で高校を中退した主人公。工場でアルバイト生活をしていたが、将来に不安を感じ、21歳で定時制高校に入学することに。様々な年齢や境遇の同級生たちとのふれあいを通して、色々な悩みや辛さ、新しい価値観に気づいていく…。「いくつからでも、何度でも、ほんの一歩前に踏み出せば、再チャレンジはできる!」をテーマに、定時制高校の青春を描いた作品。定時制高校の優しい空気に触れた主人公が、巡り巡っていろんな人に声をかけていく。

（３）定時制高校の印象

定時制高校は居心地がよかった。優しい先生が多かったし、ヤンキーたちも優しくしてくれた。暴れている子はすぐ退学した。優しい子が多くて、それに支えられた。

（４）定通高校に通う生徒たちにアドバイス

自分は不得意なことが多い。バイトは長続きしない。人がいっぱいの場所や人間関係も苦手なのでいじめの対象になりやすい。だが、得意なこと・好きなことを見つけると生きやすくなる。それが当たった時にすごく熱中できる。「自分が好きなことを続けることが大事」ということを伝えたい。

漫画家や声優になりたい人は、作品をネットに上げるのがよい。自分の場合は Twitter でバズった。自分をアピールする作品を作ると、東京に行かなくても地方で仕事ができる。
自身の気持ちが楽になる言葉「やりたいこと、やってみたら。嫌やったらやめたらいいし」

伊賀市観光大使「いが☆グリオ」

小学校３年生の伊賀流忍者で
いがグリ頭に伊賀の特産品が
たっぷり詰まったお腹が特徴

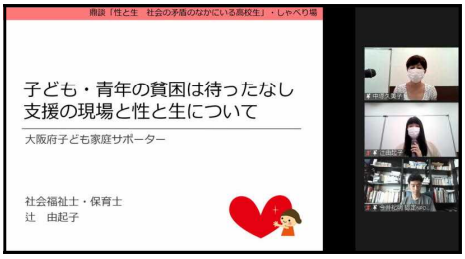
伊賀NINJAフェスティバル
マスコット
にん太 ＆ しのぶ

浦部さんに質問する濱本部長

4　鼎談『性と生　社会の矛盾の中にいる高校生』

中塚　久美子 さん（朝日新聞社 阪神支局記者）
今井　　紀明 さん（NPO法人 D×P代表理事）
辻　　由起子 さん（大阪府こども家庭サポーター社会福祉士･保育士）

辻 由起子さん



社会福祉士・保育士。大阪府立茨木高校卒業後、第1志望の大学に合格するも18歳で結婚、退学。19歳で出産。23歳でシングルマザーに。23歳、佛教大学通信教育課程文学部教育学科幼児教育専攻卒業。33歳、佛教大学通信教育課程社会福祉学部社会福祉学科卒業。保育士・第一種幼稚園教諭・社会福祉士・図書館司書・ヘルパー2級・難病ヘルパー等取得。小学校で家庭の教育力専門指導員、小・中学校で発達障害専門支援員を経て現在、標記サポーターの他、子ども・親子・家庭に関わる NPO ６団体で代表等、前大阪府茨木市市政顧問。相談は年間のべ1,000件以上。講座・研修は年間150本以上。

（1）支援を必要とする若者の現状

若者は危険に晒されている。SNS 上の「#止めてくれる人いませんか」「#家出」「#家出 JK」「#死にたい」「#裏アカ女子」「#神待ち」サイト。そこにあるのは甘い罠。薬物にすぐつながる。Twitter で知り合った人の家に行くと、身分証明書を借用 → 偽造の被害。本人が関知しないところで銀行口座を6つも作らされていた子もいた。

相談者をまずドンキホーテに連れて行く。その子が好きなことや大事にしている価値観が一瞬で分かる。**例**：パンツを１週間代えないことより、カラコンやネイルの方が大事。

（2）福祉スルー

弱い立場の人に支援が届きにくい。

本当に支援が必要な人に届かない理由

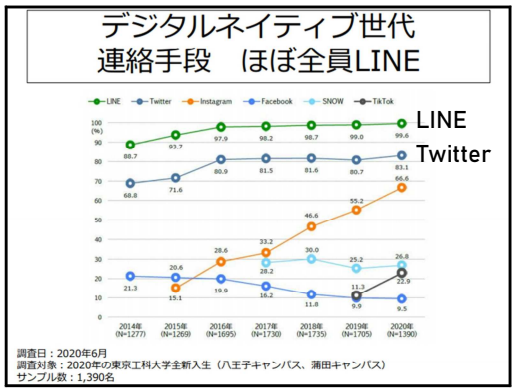
①どこの相談したらいいか分からない
②相談に行くことができても長蛇の列
③難しい説明をされても行政用語が分からない
④職員が異動 → 貧困は年度末には終わらない
⑤傾聴だけで解決に至らない
⑥結果、公的支援につながらない → 諦め

総合支援資金特例貸付借入申込書

郵便の出し方も知らない。これは、彼女たちの課題ではなく、社会の課題。

（3）よくされる質問「どうやってつながったの？」

①SNS をやっているから。SNS ならすぐにつながる
②いつでも「辻由起子」時間や曜日で担当者が変わらない
③異動で人が変わることもない
④「相談」ではなく「雑談」から
⑤「ルール」ではなく「思いやり」から



一番最初に誰に相談するかで、人生を左右する
知識のある・なしも大切だけど、心のある・なしの方が大切

（4）制度を変えていく

法律がない、制度がない → 変えればいい。

事例：公営住宅の目的外使用。保護すべき子どもの住居として使用。

今井 紀明さん

今井さん

認定NPO法人 D × P代表理事。1985年札幌生まれ。立命館アジア太平洋大学卒。高校生の時、イラクの子どもたちのために医療支援NGOを設立。その活動のために、当時、紛争地域だったイラクへ渡航。その際、現地の武装勢力に人質として拘束され、帰国後「自己責任」の言葉のもと社会から大きなバッシングを受ける。対人恐怖症になり、4～5年間の引きこもりを経験。大学進学後友人らに支えられ復帰。

（1）活動内容

D × Pは、通信制・定時制高校に通う高校生を中心とした若者につながる場をつくるNPO。「出会う・つながる」をキーワードに、オン・オフラインで展開。

（2）オンライン

LINE による相談事業ユキサキチャットを立ち上げた。相談員には社会福祉士、精神保健福祉士、キャリアコンサルタント、教員免許保持者等。LINE 登録者は4,107人、相談者数1,843人。

支援例：現金給付（69名342万円）＆食糧支援 → 生活保護へつなげていく。進学・就職をサポート。全国の相談者へ30食をすぐに届ける。のべ157人に4,980食を支援。(2020年実績) PC 無償提供（95名）等。運営はすべて寄付金（年間約1億円）で賄われている。

（3）オフライン

10代のセーフティーネットという点において、先生は最前線。10代のコミュニティーは分散し、つながりにくい。校内でカフェを運営し、居場所を提供。雑談の中から本音が聞けて、好きなことから接点は見つかる。

5 ミニ報告 『コロナ禍で浮き彫りになったシフト制労働への対応』

東海林 智 さん （毎日新聞社 社会部専門記者）

（1）シフト制とは

東海林さん

シフト制とは、勤務日と勤務時間が固定で決まっていない勤務形態で、同じ職場の従業員と交代で勤務する働き方。一定の時間で労働者を交代させ、休みなく現場を稼働し続ける交代勤務体制。

企業側は、労働者の都合や状況に応じて時間帯や曜日を選ぶことができる自由な働き方だという一面のみを強調する。「どうぞ、働きたい時に好きなだけ働いてどんどん稼いでください」と言うが、違法性の高い雇用契約の側面があることは否定できない。

（2）シフト制のアレンジ

企業にとって使い勝手が良いようにアレンジされて「必要な時に必要な労働力を調達する」制度として使われ始めた。労働条件通知書に所定の労働時間（例：週5日間で30時間等）が記載されておらず、勤務時間の項目に「シフトによる」とだけ書かれている。いつどれくらい働くかも分からない契約が雇用契約として成立するのか大きな疑問。厚労省との議論の中でも、違法契約であるとの見方が大勢だった。

（3）コロナ禍で浮き彫りになった問題点

コロナ禍で休業要請。正社員には休業補償がなされたが、シフト制の非正規社員に対しては休業補償がされなかったケースが多かった。経営者側の言い分「シフト労働においては、シフトが決まってから労働時間が決まる。従って、シフトが決まっていた分は補償するが、シフトが決まっていなかった分については補償する必要がない」

事例１：昨年の緊急事態宣言で営業を2ヶ月間休止したラーメンチェーン店 一風堂でもこのやり方が行われた。月16～18万円あったシフト労働者は、休業期間はシフトが決まっていた半月分の6割の補償しかなく、営業再開後も深夜営業の停止により、シフトカットが続き、月収レベルで7～10万円の減収となった。

事例２：「月120時間**以上**」としていた勤務時間を「月120時間**未満**」と一方的に変更。労働者に対しては「1人当たりの労働時間を減らして、労働力を確保したい。労働者も（賃金が減った分は）ダブルワークするなどして協力してほしい」と平然と答えている。勤続10年以上の労働者にも容赦ない。シフト制の本質的な部分が現れている。労働者の生活は考慮せず、雇用の調整弁として使う働かせ方。

事例３：シフトは、ランチタイムに入って夜までの勤務。午前11時～午後10時（11時間労働）。ただ、客が少ない日には、12時に帰される。「夕方来てくれれば…」家が遠い人には「休憩時間として待機」を命じられる。待機中の時給は支払われない。突然のシフトキャンセルもある。労働者がまるで部品のように扱われている。経営者が提案したシフトを断ったり異議を申し立てると、シフトが減少。「今月、あなたに入るシフトはありません」これが何ヶ月も続けば当然退職に追い込まれる。その際も都合退職扱いにされる。

シフト労働者にとっては、どのくらいシフトが入るかで収入が変わる。シフトの増減はまさに死活問題。そのため、労組に加入して休業補償を求めたり、権利を行使した労働者には、シフトを外すことで報復、あるいは退職に追い込むなどの行為が行われる。労働力のジャストインタイムを実体化しようとするもの。シフト制が悪用されている悪い見本そのもの。

（4）シフト労働者が身を守るために

シフト労働は違法性の高い契約。労働条件通知書に「シフトによる」とある場合、目安だけでも雇用主に言わせた方がよい。それを録音しておけば、証拠として使うことができる。過去3ヶ月の平均賃金を証明する給与明細や独自の記録があれば、賃金補償を受けることは可能である。

2021年度 全教定通部定期総会

◆日　　時　2021年7月10日（土）13:00～16:30
　　オンライン開催

◆本県参加者　濱本 功二（佐世保中央夜間）
（2名）　烏山 隆弘（鳴滝夜間）

7月10日（土）、全教定通部定期総会がオンラインで開催されました。長崎高教組からは2名が参加。

佐世保中央定時制夜間部の濱本さんが、全教定通部長に再任された他、全ての議案が承認されました。

◆討議の柱

① 定通制高校生の就修学保障（学費、就修学支援、生活支援、生活指導等）
② 特別支援（通級、日本語を母語としない生徒等）
③ その他（勤務条件、再任用等）

全教定通部 濱本 部長

◆経過報告

2020年度は、全国定通教育学習交流集会をはじめ、各ブロックの交流集会もすべて中止となりました。11月に行われた文部科学省交渉の詳細については、定通部第32回定期大会議案書で紹介しています。